

徳山工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	工業英語 I
科目基礎情報						
科目番号	0093		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械電気工学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材	アメリカの大学の水力学の教科書					
担当教員	藤田 重隆					
到達目標						
1. 英語で書かれた大学で使用する工学系の専門書を読むことができ、意味を理解することが出来る。 2. 英語で書かれた工学系の専門書の単語の意味が理解でき、かつ文章の文法的な理解が出来る。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
	レベルのかなり高い英語で書かれた大学で使用する工学系の専門書を読むことができ、意味を理解することが出来る。		通常レベルの英語で書かれた大学で使用する工学系の専門書を読むことができ、意味を理解することが出来る。		通常レベルの英語で書かれた大学で使用する工学系の専門書を読むことができず、意味を理解することができない。	
	レベルのかなり高い英語で書かれた工学系の専門書の単語の意味が理解でき、かつ文章の文法的な理解が出来る。		通常レベルの英語で書かれた工学系の専門書の単語が理解でき、かつ文章の文法的な理解が出来る。		通常レベルの英語で書かれた工学系の専門書の単語の意味が理解できず、かつ文章の文法的な理解が出来ない。	
学科の到達目標項目との関係						
到達目標 A 1						
教育方法等						
概要	英語は世界標準言語としてあらゆる分野に使用されており、工学の分野においても例外ではない。本講義では、アメリカで使用されている水力学の教科書を使用し、英文の読みおよび翻訳を行い、専門英語の読解力を養う。					
授業の進め方・方法	学生は、単語力および発音力をつけるために、単語ノートを用意し、それに辞書で調べた単語の意味等（発音記号）と翻訳文をそれぞれ書く。授業では、1回の講義で10名程度の学生を当てて、読みと訳をさせる。単語試験も実施する。その際、質問や意見欄を設け、講義の進め方等に学生の要望を反映させる。なお、講義内容を確実に理解するためには、予習復習が必須である。					
注意点						
授業計画						
前期	1stQ	週	授業内容	週ごとの到達目標		
		1週	オリエンテーション：単語帳と翻訳ノートの作成	単語ノートの作成が出来る、翻訳ノートの作成が出来る。		
		2週	水力学の専門英語翻訳	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。		
		3週	専門英語翻訳, 単語試験	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。		
		4週	専門英語翻訳	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。		
		5週	専門英語翻訳, 単語試験	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。		
		6週	専門英語翻訳,	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。		
		7週	専門英語翻訳, 単語試験	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。		
	2ndQ	8週	中間試験	これまでの専門の内容と同じ範囲の英語の文章の日本語への翻訳を試験し、文型を理解し、翻訳することが出来るかを試験する		
		9週	答案返却, 専門英語翻訳	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。		
		10週	専門英語翻訳,	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。		
		11週	専門英語翻訳, 単語試験	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。		
		12週	専門英語翻訳	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。		
		13週	専門英語翻訳, 単語試験	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。		
		14週	専門英語翻訳	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。		
		15週	前期中間試験	これまでの専門の内容と同じ範囲の英語の文章の日本語への翻訳を試験し、文型を理解し、翻訳することが出来るかを試験する		
		16週	答案返却, 専門英語翻訳	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。		
後期	3rdQ	1週	専門英語翻訳	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。		
		2週	専門英語翻訳, 単語試験	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。		
		3週	専門英語翻訳	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。		

		4週	専門英語翻訳, 単語試験	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。
		5週	専門英語翻訳	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。
		6週	専門英語翻訳, 単語試験	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。
		7週	後期中間試験	これまでの専門の内容と同じ範囲の英語の文章の日本語への翻訳を試験し, 文型を理解し, 翻訳することが出来るかを試験する
		8週	答案返却、専門英語翻訳	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。
	4thQ	9週	専門英語翻訳	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。
		10週	専門英語翻訳, 単語試験	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。
		11週	専門英語翻訳	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。
		12週	専門英語翻訳, 単語試験	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。
		13週	専門英語翻訳	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。
		14週	専門英語翻訳, 単語試験	各学生が当てられた範囲のテキストの日本語訳が出来る。英語の文章を発音して読める。
		15週	後期期末試験	これまでの専門の内容と同じ範囲の英語の文章の日本語への翻訳を試験し, 文型を理解し, 翻訳することが出来るかを試験する
		16週	答案返却	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	単語試験	合計
総合評価割合	90	0	0	0	0	10	100
読解能力	90	0	0	0	0	10	100
	0	0	0	0	0	0	0